



八剣山通信



第95号

八剣山発見隊
2010年3月23日発行

3月22日(月)

「果樹せん定講習会 2010」を実施しました。

【行事の概要】

3月の八剣山地域、太陽の日ざしが日ごとに強く感じられ、雪が降ってもすぐ融けてしまうだけでなく、固く締まっている積雪も日ごとにその高さを低くしています。しかし、まだ畑や果樹園は白い雪におおわれており、中には1メートル近くの雪が積もっている箇所もあります。

このような季節にもかかわらず、八剣山周辺の果樹園ではサクランボやリンゴの生長とたくさんの果物が生育することを願って樹木のせん定作業が行われており、果樹農家においては大変忙しい季節を迎えてます。

2005年にはじまった講習会も今年で6年目を迎えました。これまで講習会に参加した方は400人ほどになりますが、中には毎年この講習会に参加してせん定方法を学び、自宅の庭に植えている果樹のせん定に役立てることで、立派な果物を育てている参加者もおられます。

せん定の基本は切った後の枝が成長し翌年や翌々年にどう伸びるのかを想像しながら作業を行うことが必要であり一朝一夕にはマスターできない、いわば経験がものを言う職人芸であるといえます。

今年も、元北海道農業試験場果樹研究室長の京谷英壽先生のご指導により、果樹のせん定における注意点や疑問点について具体的にアドバイスをしていただきます。

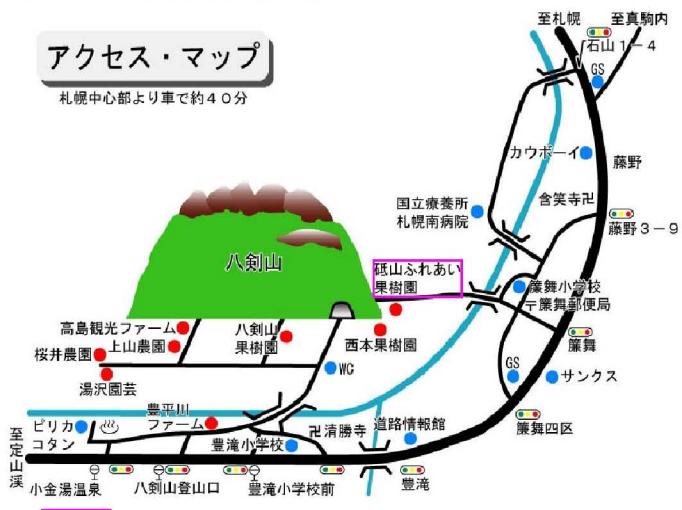
果樹の生育について、専門の先生から直接に指導を受けることのできる大変良い機会であるといえます。

・主催：八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】

アクセス・マップ

札幌中心部より車で約40分



今回開催された会場

【行事の感想】

天気予報では大荒れのことでしたが、朝から晴れわりました。しかし説明の途中で強風が吹き荒れて、たびたび雪が舞い上がるなど、厳しい気候の中での開催でした。

はじめに、京谷先生から小屋の中で果樹のせん定についての簡単な説明を行ってから、園地に移動してりんごの木のせん定について具体的な説明を行い、説明のあとに実際にせん定作業の実演が行われました。

続いて場所を移し、さくらんぼの木のせん定についての説明が行われ、京谷先生の説明に続いて園主の瀬戸さんが実際にせん定作業の実演が行われました。

参加者の皆さんからは、各自が育てている果樹についての具体的な疑問点、肥料や農薬の散布などについて質問が出されたほか、講習会終了後においてもアドバイスを受けている参加者も見受けられました。

今回の講習会の参加者は20名ほどで、例年の半分以下でしたが、説明を行う側及び受ける側としても、ちょうど良い規模だったように感じられました。



【せん定の説明をする京谷先生と瀬戸さん】

【今後の行事予定】

- 5月15日 くだもの花の花見会＆総会（隊員限定）

発行：八剣山発見隊（事務局長 瀬戸修一）

061-2275 札幌市南区砧山84番地

TEL&FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

<http://www.hakkenzan.com/>

果樹せん定講習会 2010



【会場となった果樹園】



【小屋の中での簡単な説明】



【りんごの木のせん定方法説明】



【せん定方法の実演】



【さくらんぼの木のせん定方法説明】



【吹き荒れる強風と舞い上がる雪】

